

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2023年12月30日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう笠岡	

※あてはまるところに○印し、改善点をご記入下さい。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	0	0	利用定員は毎月法に準じて適切に対応している。活動内容や人数によって、十分なスペースが確保できるように場所や人数を分散させる等の工夫をしている。
	② 職員の配置は適切である	6	0	0	配置基準は満たしており、法的な人員基準より多く職員を配置している。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	6	0	0	毎日の清掃を実施、管理している。 感染来策マニュアルがあり、社内研修を定期的に行っている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	毎朝、ミーティングを行い前日の支援の振り返りを行っている。改善策の話合いと実行は迅速に行い、パートタイム職員にはミーティング記録にて確認を行っている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	評価表の内容や保護者様の意見を職員間で共有し、職員全体で業務改善を行うようにしている
	⑥ 自己評価の結果を公開している	6	0	0	書面の配布やホームページにて結果の公表を行っている
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	0	0	事業所内では支援や行事企画についてのミーティングを開催している。また、社内では8月以外、虐待防止・市内高速・権利擁護・障がい特性の理解について・衛生管理・緊急時対応等の研修を受けている。管理者は社外の研修に参加する事もある。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	0	0	半年ごとにモニタリング面談を実施し、保護者のニーズを聞きながら個々の発達に合わせた個別支援計画を作成している。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	6	0	0	月初に行行事会議を行い、アイデアを出し合っている。実行はチーム全体で協力して行っている。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	6	0	0	新しいアイデアや専門性のある活動を取り入れ、興味を持って活動できるよう創意工夫をしている。また、子どもの自主性が育つようなプログラム内容を取り入れている。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	0	0	プログラムのねらいをしっかりと定め、季節感を大切にしながら平日、休日、長期休暇に応じた課題を決め、支援をしている。土・祝・長期休みには美術館や博物館や公園等に出掛け公共のマナーを学んでいる。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6	0	0	基本的には集団活動を行っているが、活動や子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせている。集団での活動が難しいお子さんには個別に対応し、集団活動に参加できるように適切に声掛けを行っている。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	毎朝のミーティング時に当日の支援の打ち合わせをしている。一日の流れや役割の確認と共に、注意事項の確認もしっかりと確認している。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	当日の支援に関する記録は当日中に終わらせるようにしている。適宜気になる点は職員間で伝達しており、翌日のミーティングにて支援の検証・改善につなげている。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	半年ごとにモニタリングを実施し、家・学校・夢門塾の様子を保護者と情報共有している。保護者のニーズ、現状把握、発達に合わせた計画の見直しを行っている。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	0	0	ガイドラインを確認しながら、様々な活動を支援している。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	6	0	0	学校から情報共有(年間行事計画・下校時刻表)をいただいており、子どもの下校時の連絡調整を適切に行っている。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	0	6	0	児童発達支援、学校等と情報を共有している。
	⑱ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	0	6	0	現在、障がい福祉サービス事業所への移行対象者がいない。
	⑲ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	0	児童発達支援センター、自立支援協議会、社会福祉課、子育て支援課、教育委員会等、必要に応じて連携している。
	⑳ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	0	0	ご利用時の様子を連絡帳やコドモン、送迎時に保護者へお伝えしている。また専門機関への受診の際、事業所での活動の様子を文書でお伝えし、受診結果の報告をいただくこともある。
保護者様への説明責任等	㉑ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	契約時に説明を行っており、質問等あれば適切な対応をしている。
	㉒ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	0	0	個別に送迎時やお電話にてお話をうかがい対応している。また、保護者同士で悩みを話し合える機会を設け、そちらでも必要な助言を行っている。
	㉓ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	6	0	0	令和5年11月に参観・座談会、12月に保護者交流会「ゆめカフェ」を開催し、保護者同士が交流する機会を設けた。
	㉔ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	お子様や保護者様からの苦情があれば、迅速に対応を行う。必要に応じて相談支援専門員を含め対応をしている。苦情対応体制は整備している。
	㉕ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	0	0	毎月おたより「ゆめだより」、行事予定「夢通信」を発行している。また、ブログにて活動内容の発信をしている。
	㉖ 個人情報保護に十分注意している	6	0	0	個人情報の取り扱いの関連書類は事業所内に保管し、持ち出し厳禁にしている。写真の扱いに関しては2重のチェックを行っている。職員は就職・退職の際、個人情報保護厳守の誓約書を提出している。
	㉗ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	視覚での支援(絵カード)や文字盤を活用し、意思疎通を行っている。個々の発達に合わせ、分かりやすい言葉や文章量でお伝えしている。
	㉘ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	2	4	0	本年度は参加できなかった為、来年度は地域行事の参加を検討する。保護者の交流会である「ゆめカフェ」を地域の子育て世代の方にも開放していく予定。
	㉙ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	0	0	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、職員に周知徹底している。
非常時などの対応	㉚ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6	0	0	年2回「火災」「津波・地震」と内容を変えて訓練を行っている。行事計画に入れて実施し緊急時に備えている。
	㉛ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	毎年、社内で行っている虐待防止の研修に参加している。
	㉜ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6	0	0	契約時に身体拘束の必要がある場合についての説明を行っている。基本的に身体拘束は行わないが、安全確保の為、一時的に実行した際には保護者に状況をお伝えするとともに、記録を残すようにしている。
	㉝ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6	0	0	保護者からお預かりした与薬表を管理し、与薬を行っている。職員で情報を共有し、飲み忘れないようにチェックしている。
	㉞ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6	0	0	ヒヤリハットが起きた際には記録を必ず残している。ミーティング時に記録をもとに話し合いを行い、改善策の周知と実行を行っている。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

- ・アンケートの結果から、保護者様やご利用者様が夢門塾での活動プログラムや支援に満足し、楽しみに通ってくださっている様子がうかがえた。夢門塾がお子様の大切な居場所であり、保護者様の心の支えになっているというお言葉をいただき職員のモチベーションアップにもつながった。今後も斬新なアイデアや専門的な視点を加えて運動・学習・生活プログラムを組み立てていく予定。ご利用者自身が考えをまとめ、話し合い、実行していくプログラムを今年度は3つ行ったがとても良い形になったので来年度も継続したい。
- ・今年度は4年ぶりに参観日と保護者会を開催した。お子様の頑張っている姿を見ていただいたり、ご家庭でのお子様の様子を和やかな雰囲気で話し合ったりと、有意義な会となつた。今後も継続して参観や保護者会を定期的に開催する。また、「ゆめカフェ」を今後は地域の方にも開放し、地域に開かれた事業所としても活動していきたい。
- ・来年度も保護者様と連携しながら、ご利用者様の持っている強みを伸ばし、様々な経験の中で成長できる場面を増やしていきたい。同時に職員間の連携をしっかりととり、専門的な知識の学びを継続し、ご利用者様の支援に努めていく。